

# 2012「行政書士」合格へのスケジュール

下記の予定表は、TLTソフトでの行政書士完全合格への各科目での標準習熟時間です。法律知識ゼロの人で350時間～500時間です。あなたの確実にできる学習予定を立ててください。なにかの都合で遅れが生じた場合、土曜や日曜に必ず挽回するようにしてください。

<b>基礎法学</b> (12月初旬公開予定)	15時間
・法学の基礎	9時間
・基礎用語	6時間
<b>民法1～民法総則</b> (公開中)	25時間
・人	4時間
・意思表示	9時間
・代理	9時間
・時効	4時間
<b>民法2～物権</b> (公開中)	25時間
・物権変動・所有権等	12時間
・制限物権等	5時間
・抵当権	8時間
<b>民法3～債権</b> (12月初旬公開)	35時間
・債権の効力等	19時間
・契約	13時間
・不法行為等	3時間
<b>民法4～親族相続</b> (12月中旬公開)	20時間
・親族	14時間
・相続	6時間
<b>民法過去問総問演習</b> (12月中旬公開)	20時間
<b>民法記述式問題演習</b> (1月中旬公開)	15時間
<b>憲法</b> (1月下旬公開)	35時間
・基本的人権等	17時間
・国会	9時間
・内閣、司法、財政等	9時間
<b>憲法・基礎法学過去問総問演習</b> (1月下旬公開)	8時間
<b>行政法</b> (2月下旬公開)	70時間
・行政法の一般的な法理論	30時間
・行政手続法	12時間
・情報公開法	3時間
・国家賠償・損失補償	5時間
・行政不服審査法	9時間
・行政事件訴訟法	11時間
<b>行政法過去問総問演習</b> (2月下旬公開)	12時間
<b>行政法記述式問題演習</b> (3月下旬公開)	10時間
<b>地方自治法</b> (3月下旬公開)	30時間
・総則	12時間
・議会	7時間
・執行機関	6時間
・国等の関与	5時間
<b>地方自治法過去問総問演習</b> (3月下旬公開)	12時間
<b>商法・会社法</b> (3月下旬公開)	50時間
・商法総則、商行為	20時間
・会社法	30時間
<b>商法会社法過去問総問演習</b> (3月下旬公開)	13時間
<b>情報通信他</b> (4月下旬公開)	30時間
・個人情報保護法	8時間
・行政機関個人情報保護法	10時間
・行政手続オンライン化法	3時間
・不正アクセス禁止法	3時間
・電子署名法等	6時間
<b>政治経済社会</b> (12年4月下旬公開)	10時間
<b>一般知識過去問総問演習</b> (12年5月下旬公開)	10時間
<b>合格への実戦問題演習</b> (12年7月)	10時間
<b>科目別合格点到達確認テスト</b> (12年8月中旬公開)	科目別 各5回 (予定)
<b>合格保証・総合テスト</b> (12年9月中旬公開)	全5回 (予定)

## いよいよ本試験2012年11月合格へ

- ※ 法改正等の事情により、発送の時期及び順序、学習時間等は多少変更になるケースもありますので、予めご承知おきください。
- ※ 過去問総問演習は、過去12年分の本試験問題を、一問一答形式または五肢択一形式で解くものです。
- ※ 一般知識過去問総問演習には、文章理解は含まれておりません。
- ※ 合格への実戦問題演習は、本試験で出題が予想される実戦問題を解くものです。